



絆 (きずな)

目指す児童像

- やさしい子
- よく考える子
- ふるさと思いの子

「ふるさとの日」のお話 ～ 2月の校長講話より～

2月7日は福井県の「ふるさとの日」です。昭和57年3月23日に県の「ふるさとの日条例」によって定められました。2月の校長講話では、「ふるさとの日」の意味、福井県の魅力について取りあげました。

ひ 「ふるさと」の日とは？

ふくいけんみん ふくいけん し
福井県民が福井県について、よく知る。

ふくいけんみん ゆた ふくいけん
福井県民がより豊かな福井県にしていくことをちかう。

2/7 ふるさとの日きゅうしょく

- ぎゅうにゆう
- あぶらあげごはん
- にくだんごのうちまめじる
- れんこんのマヨネーズあえ
- はぶたえもち

校長講話で使用したスライドの一部

今から約140年前の1881年2月7日に福井県ができました。「ふるさとの日」は福井県民が福井県についてもっとよく知る、福井県民がより豊かな福井県にしていくことを誓う日です。

これまで「ふるさとの日」には、これにちなんだ取り組みが行われてきました。例えば「ふるさと料理を楽しむ会」。福井県のいろいろな伝統料理を味わうイベントです。また、「ふるさとの日」には、無料になる福井県の施設があります。6年生の皆さんが修学旅行で行った年縞博物館はその一つです。年縞とは水月湖という湖の底にたまった生き物の死がいなどのことを言います。これらを調べると、地球の歴史など様々なことがわかります。水月湖に残っている年縞は世界でも大変珍しいそうです。

また2月7日はふるさとの日給食として、油揚げごはん、肉団子の打ち豆汁、羽二重餅などが献立になっています。油揚げごはんは坂井市の郷土料理です。打ち豆は福井県で古くから冬の保存食として食べられてきました。羽二重餅は福井県のお菓子です。羽二重は福井県の絹織物のことです。絹のようなつやつやとしたお菓子です。

福井県は幸福度日本一の県です。住んでいて幸せだと感じている人が日本で一番多いのです。みなさんはどんなことが福井県の魅力だと思いますか？水仙畑の向こうに広がる日本海、越前ガニ。福井には豊かな自然とおいしい食べ物がたくさんあります。2月7日は「ふるさとの日」。みなさんも福井県の魅力について考えてみてください。

おれ 1月28日(土)の親子ふれあい活動へのご参加、ありがとうございました。厳寒の体育館での活動となりましたが、笑顔いっぱい体操や百人一首に取り組まれる様子を拝見し、大変うれしく思いました。ご理解とご協力に感謝いたします。